



STEP1 育てる野菜を 決める

まずは育てる野菜を選びましょう。育てる場所や季節によつて、適した野菜は異なります。

その時期にあった旬の野菜を選ぶことで、栄養価が高くおいしい野菜を育てることができます。下の図では初心者の方におすすめの、育てやすい野菜を季節ごとに紹介しています。迷ったときは参考にしてみてください。

STEP2からの手順は4月から6月が植え時で、初心者の方でも挑戦しやすいミニトマトを例にとり、手順を紹介します。



植える時期別 初心者におすすめの野菜

冬

コマツナ、小カブ
(いずれも15℃を下回らなければ可)

秋

(9月)ニンジン
(8~10月)球根ネギ

夏

(4~6月)ホウレンソウ、
(5月)ナス、(5~6月)ピーマン、
(5~8月)トウガラシ ※苗の場合

春

(3~5月)ホウレンソウ、
アスパラガス

※同じ野菜でも品種によって植え付け時期が異なる場合があります。育てる前に確認しましょう。

育てる前に「野菜の特徴を知ろう！」

トマトの特徴: トマトは南米大陸の原産で、湿気に弱く、水はけが悪い状態が続くと病気になる可能性が高くなるため、水はけには十分注意して栽培する必要があります。また、風通しが良く、太陽光が十分に当たる場所で育てることが大切です。ミニトマトも基本的な育て方は同じです。



STEP2 準備する

まずは必要なものを準備しましょう！



土

ホームセンターなどで売っている培養土を使うと、土づくりの手間が省けます



プランター

一つの苗に対し、直径・深さがそれぞれ30センチメートル以上あるものを準備しましょう。



苗

葉が緑色で、黄色く変色していないものを選びます。**ポイント** 茎がまっすぐ伸びているものがいい苗の証です。



肥料

固形ものが望ましいです。(液体でも可)



ひも

成長した茎を支柱に縛る際に使います。(ビニールひもでも代用可)



じょうろ

あまり大きくないものを用意しましょう。



支柱

150センチメートル前後のものを用意しましょう。



園芸用スコップ

プランターに土を入れるときに使います。

* があると便利なもの *

鉢底石

鉢の底に敷くと、水はけを良くする効果があります。

着果促進剤

着果(受粉)を確実にを行うためのものです。使用量を守らないと生育不良を起してしまうので、注意しましょう！